

**部局名** 医学部看護学科 生活・基盤看護科学講座 地域看護学領域

**テーマ** 中高生の生きる力を育む性(生)教育、「思春期ピアカウンセリング」の実施

3 すべての人に  
健康と福祉を



4 質の高い教育を  
みんなに



男女の区別なく、すべての若者に、性と生殖に関する情報や教育を提供する

## 宮崎県の現状

宮崎県の人口妊娠中絶実施率は全国ワースト1位です。特に多いのは20～30代ではあるものの、18歳以下においても人工妊娠中絶件数が89件あることが報告されており、本県においても望まない妊娠に関する課題が存在しています。(統計情報は令和元年度衛生行政報告例より引用)

## 特色ある取組

地域看護学領域では、宮崎県の人口死産率および人工妊娠中絶実施率を低減させることを目的に、宮崎県福祉保健部健康増進課と協働し、県内の中学生・高校生を対象に思春期ピアカウンセリング事業を展開しています。具体的には、大学生が“**同世代を生きる仲間**”として、県内の中高生に性教育を実施しています。



**教育内容:**①思春期の心と体の特徴、妊娠・避妊に関する知識の提供 ②中高生の「性＝生」の自己決定を育むプログラムの実施

## 期待できる成果

参加した中高生からは、「**人それぞれの価値観があるんだと思った**」「**人が人に恋するのは当たり前のことと聞き、とても納得できた**」「**実際にコンドームに触れるなど、貴重な体験ができた**」「**自分も相手も大切にしていきたいと思った**」などの感想が聞かれました。今後も、県内の中高生が“性”は特別なことではなく、身近なこととして、大学生と共に考えていけるように活動していきます。

## 取組の様子

